

第74期

# 株主通信

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日

### 当社の強み | Our Strengths

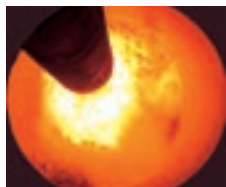
- ① 卓越した技術力
- ② カスタムメイド
- ③ 長年にわたり培った製品信用力
- ④ 優良な顧客基盤
- ⑤ ファブレスで柔軟な経営

株式会社NFKホールディングスは、最先端技術を社会に提供し、地球環境保全と循環型社会の実現に貢献するとともに、株主の皆様は勿論、企業を支えるお客様や取引先、社員、地域社会等の全てのステークホルダーの繁栄を目指して事業活動を行ってまいります。

### プラントエンジニアリング事業 Plant Engineering

- 産業機械関連
- 石油関連
- 環境関連

主な販売先 セメント関連企業  
石油化学関連企業



ロータリーキルン 燃焼状態

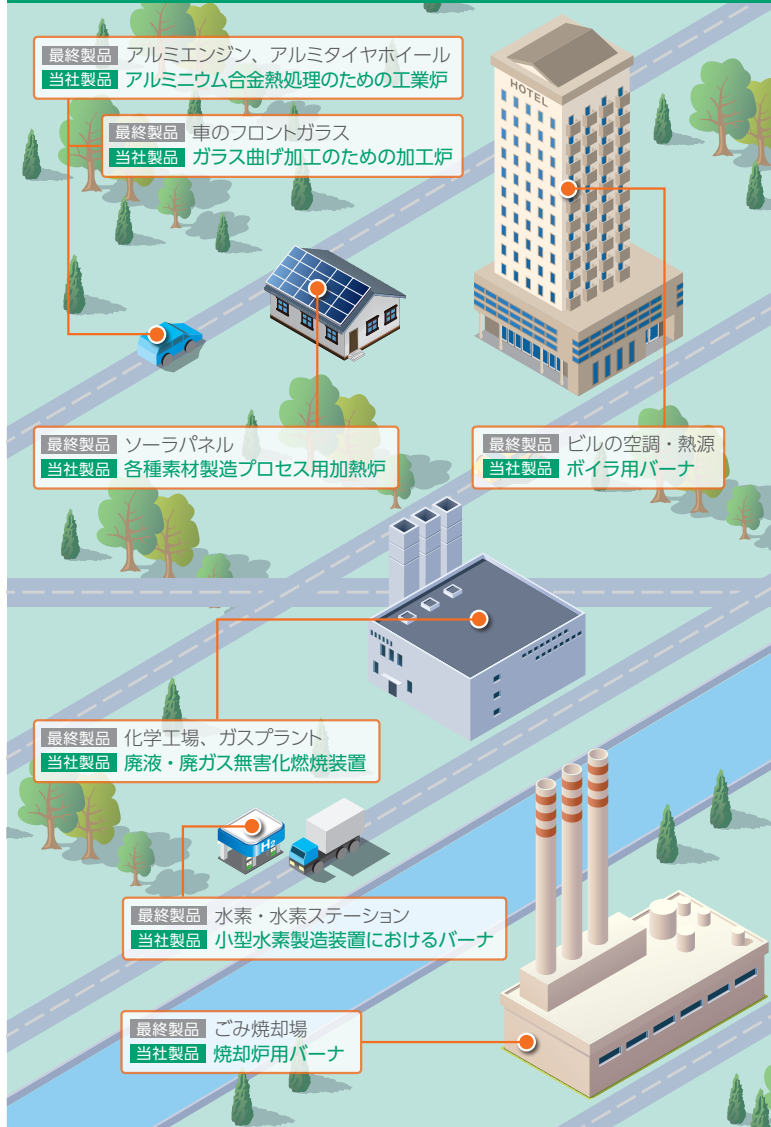


空気加熱炉



廃液 & 廃ガス燃焼装置

1950年の創業以来、私たちは燃焼機器関連事業を柱に、常に世界に確固たる地位を築きました。私たちは今、地球環境保護を最サービスの開発・販売を手掛けることで、新しい未来の扉を開く



代表の先端をリードする技術開発に努めてまいりました。そして業重要テーマとする省エネルギーや低環境負荷に貢献する製品やうとしています。



## 燃焼機事業 Combustion Equipment

- 金属加熱関連
- ボイラ関連

主な販売先 大手ボイラメーカー  
鉄鋼関連企業  
窯業関連企業



ULN型低NOxバーナ



ガラス熱交換器



連続焼鈍設備用HRSTバーナ

## 工業炉事業 Industrial Furnace

- 自動車関連
- 金属加工炉関連

主な販売先 大手自動車メーカー  
金属加工関連企業  
熱処理関連企業



バスケットレス多段回転炉



2階建AL鋳物T6熱処理炉



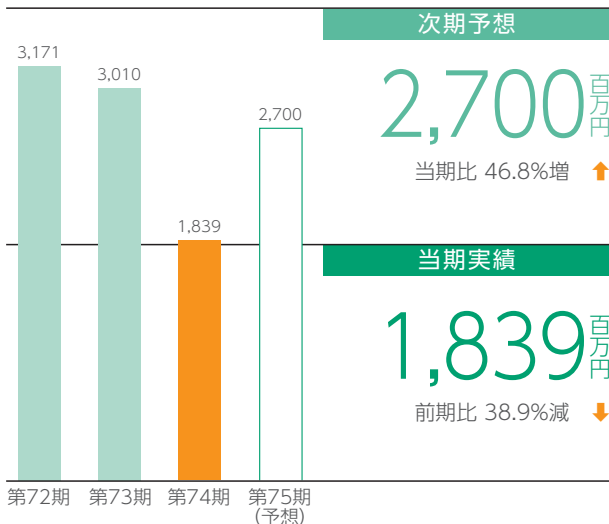
多目的合金鋼バッチ炉

決算総括 | Executive Summary

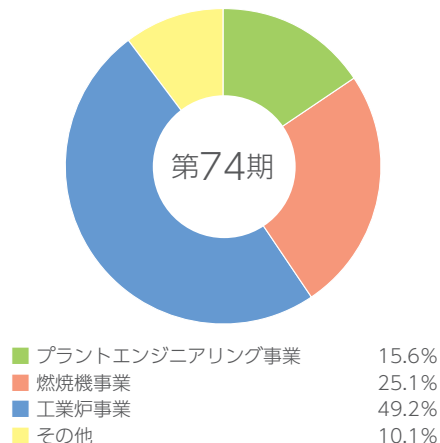
- 原油価格の急激な変動による経済環境悪化
- 好調な自動車関連企業向けに下期に向け受注が急回復するも当期売上計上に至らず
- 厳しい経営環境を反映して損失計上
- 配当についても誠に遺憾ながら無配へ

売上高

(単位：百万円)



事業別売上高構成比



当冊子より詳しい決算情報などは当社IRサイトでご覧いただけます。

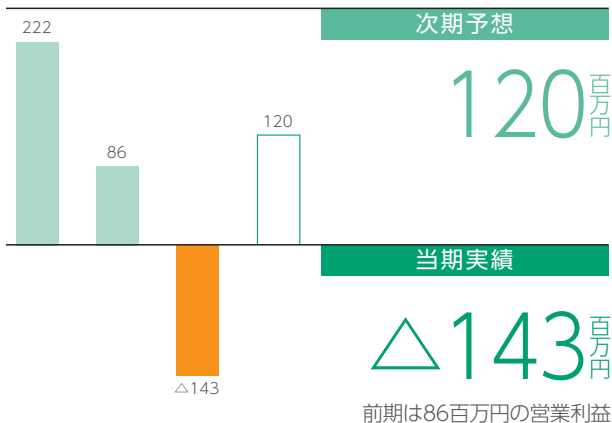
<http://www.nfk-hd.co.jp/ir/> または

NFK IR

検索

## 営業利益

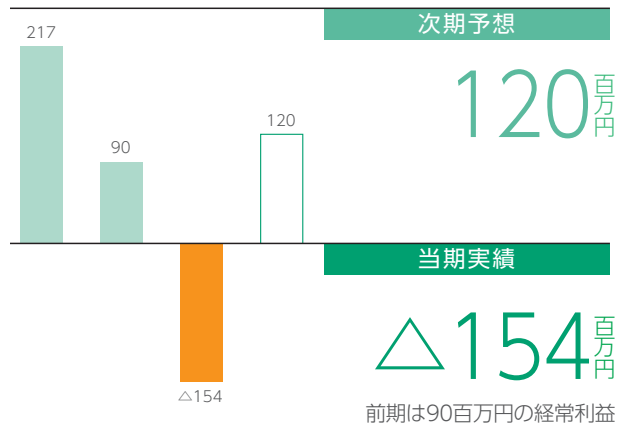
(単位：百万円)



第72期 第73期 第74期 第75期 (予想)

## 経常利益

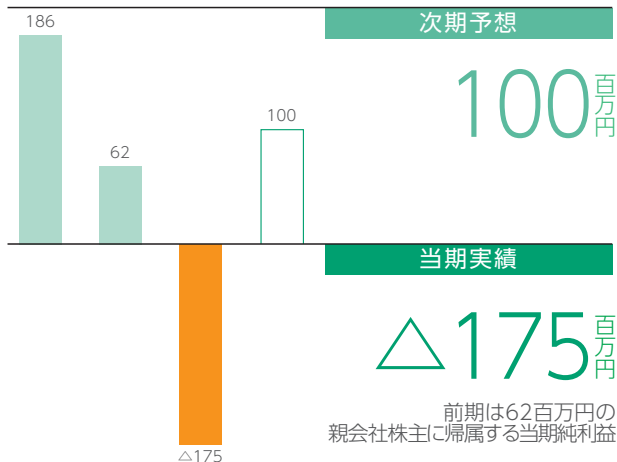
(単位：百万円)



第72期 第73期 第74期 第75期 (予想)

## 親会社株主に帰属する当期純利益

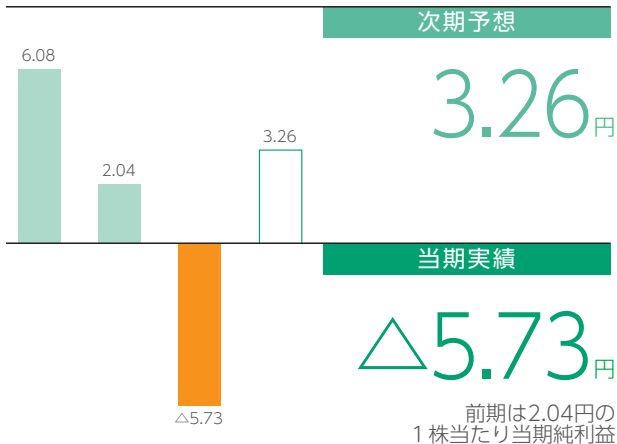
(単位：百万円)



第72期 第73期 第74期 第75期 (予想)

## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



第72期 第73期 第74期 第75期 (予想)

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第74期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の営業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長

関口 陽介



### 当期の経営環境と連結業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が継続し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、個人消費の停滞が継続しているほか、株式市場の低迷や為替相場の急激な変動など、景気の先行きについては不透明な状況で推移いたしました。海外におきましては、米国において企業業績や個人消費が底堅く推移し、また、ユーロ圏の景気も緩やかに回復傾向を示す一方、一部地域における政治情勢の混迷や、中国を始めとする新興諸国の景気減速といった下振れリスクも存在しており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは、平成26年4月にスタートさせた「16中期経営計画」に基づき、「燃

焼装置関連事業の海外展開強化」、「市場ニーズに対応した新商品の開発」、「安定配当の実現」及び「コンプライアンス及びコーポレート・ガバナンス重視の徹底」の4つの経営基本方針と「海外売上比率50%」、「新技術新商品の創出」、「国内基盤固め」及び「トータル原価の削減」の4つの重点戦略を掲げて全社を挙げて取り組んでまいりました。しかしながら、前連結会計年度から続く原油価格の急激な変動などにより、石油・天然ガス関連企業からの受注が大幅に減少したほか、その他の企業につきましても低燃費・低環境負荷などの付加価値の高い製品への設備投資計画の停滞・見直しが見られたことなどから非常に厳しい環境下での事業運営を迫られることとなりました。下期に入り、好調な輸出関連企業向けの大型案件を受注するなど、受注環境は回復してまいりましたが、その大部分が翌期の計上となることから、当連結会計年度の業績は、売上

高18億3千9百万円（前年比38.9%減）、営業損失1億4千3百万円（前連結会計年度は営業利益8千6百万円）、経常損失1億5千4百万円（前連結会計年度は経常利益9千万円）、親会社株主に帰属する当期純損失1億7千5百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益6千2百万円）となっております。

### 次期の見通しについて

わが国経済の先行きにつきましては、政府の経済対策並びに日銀の金融緩和策を背景に、引き続き国内景気の回復が期待される一方で、世界経済の動向などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な厳しい状況が続くものと考えられます。

このような中、当社グループは、年度計画の実現に

向け、さまざまな施策を実行してまいります。以上を踏まえ、次期の通期連結業績予想につきましては、売上高は27億円、営業利益は1億2千万円、経常利益は1億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1億円を見込んでおります。

### 利益還元方針と配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を充実させていくことを経営の最重要課題の一つに位置づけ、安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な財務基盤を構築すべく株主資本の充実を図りながら、収益動向とのバランスに配慮した利益配分を行うことを基本方針としております。

## 16中期経営計画

### 経営基本方針

- ① 燃焼装置関連事業の海外展開強化
- ② 市場ニーズに対応した新商品の開発
- ③ 安定配当の実現
- ④ コンプライアンス及びコーポレート・ガバナンス重視の徹底

① 海外売上比率 50%へ

② 新技術新商品の創出

③ 国内基盤固め

④ トータル原価の削減

持続的成長を目指す

当連結会計年度の配当につきましては1億7千5百万円の親会社株主に帰属する当期純損失の計上を余儀なくされたことから、無配とさせていただきます。当社グループでは、業績の回復・収益力の向上に全社一丸となって鋭意努力いたし、安定的な黒字化を実現し、早期に復配が行えるように注力してまいります。

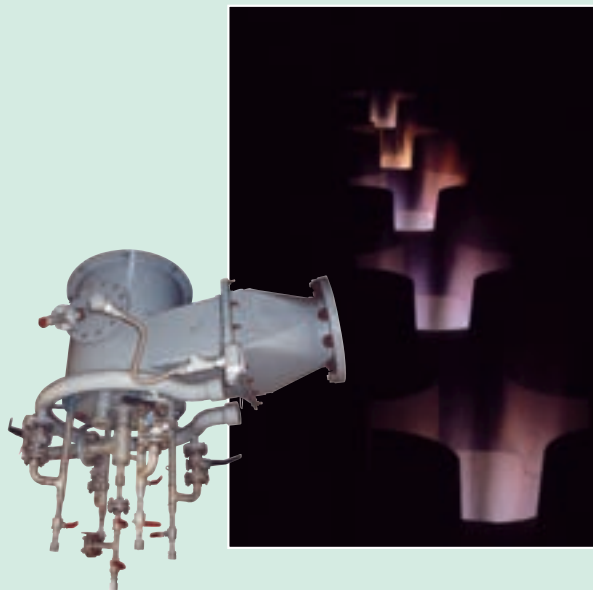


## 新製品情報

“SRX-Eバーナ” Evolution Low NOx Burner 納入開始  
(石油加熱炉用低NOx型バーナ)

当社グループでは1972年に世界初となる石油加熱炉用低NOx型バーナを開発・販売して以来、お客様のご要望を取り入れて改良を重ねつつ、世界中の多くのお客様に総数5,000台以上の石油加熱炉用低NOx型バーナを提供しご愛顧頂いております。

この度、当社グループが長年に亘り培った技術を集結し、日本ファーンズ燃焼技術研究所（宮崎県西都市）での燃焼試験も重ねながら、革新的とも云える石油加熱炉用低NOx型バーナを開発完了しました。この新製品を、従来の石油加熱炉用バーナ（SRXバーナ）の進化形（Evolution）バーナ、「SRX-Eバーナ」と名付け、販売を開始いたしました。「炉内排ガス自己再循環方式」を採用し、近年の環境要求に合わせた、最先端の環境性能を備えており、従来型との設置互換性も極めて高いことから、積極的な販売活動を展開してまいります。



■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成28年3月31日現在	前連結会計年度 平成27年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,749	3,125
固定資産	1,115	1,157
有形固定資産	849	867
無形固定資産	4	6
投資その他の資産	261	284
資産合計	3,864	4,283
<b>負債の部</b>		
流動負債	608	789
固定負債	396	418
負債合計	1,004	1,208
<b>純資産の部</b>		
株主資本	2,419	2,625
資本金	2,131	2,131
資本剰余金	40	40
利益剰余金	247	454
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	441	449
純資産合計	2,860	3,074
負債純資産合計	3,864	4,283

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	前連結会計年度 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	130	502
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10	△ 118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 36	△ 396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16	△ 1
現金及び現金同等物の増減額	67	△ 14
現金及び現金同等物の期首残高	1,750	1,764
現金及び現金同等物の期末残高	1,817	1,750

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	前連結会計年度 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高	1,839	3,010
売上原価	1,371	2,281
売上総利益	468	728
販売費及び一般管理費	611	642
営業利益又は営業損失(△)	△ 143	86
営業外収益	5	6
営業外費用	17	3
経常利益又は経常損失(△)	△ 154	90
特別利益	1	1
特別損失	0	0
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 152	91
法人税等	23	29
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 175	62
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 175	62

■ 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	前連結会計年度 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 175	62
その他の包括利益	△ 7	13
その他有価証券評価差額金	△ 18	△ 7
土地再評価差額金	10	21
包括利益	△ 183	76
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△ 183	76
非支配株主に係る包括利益	—	—

## 会社概要

社名 株式会社NFKホールディングス  
 設立 昭和25年(1950年)4月12日  
 資本金 21億31百万円  
 従業員数 94名(連結)  
 事業内容 持株会社(工業炉燃焼装置関連事業)  
 事業所 神奈川県横浜市鶴見区尻手二丁目1番53号  
 上場市場 東京証券取引所 JASDAQ(コード番号:6494)

## 連結子会社

### ● 日本ファーンエス株式会社

所在地	資本金	議決権比率
横浜市鶴見区	100百万円	100%

### ● 株式会社ファーンエスES

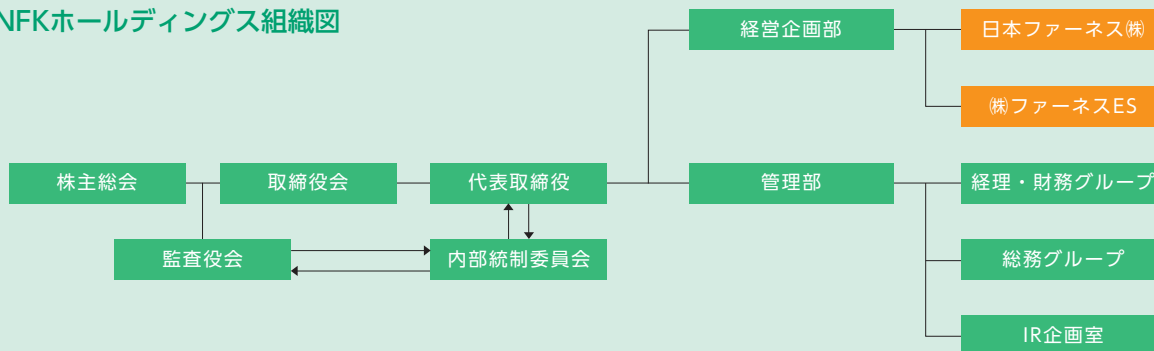
所在地	資本金	議決権比率
横浜市鶴見区	20百万円	100%

## 役員

役職	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	関口 陽介	日本ファーンエス株式会社 代表取締役社長
取締役	戸羽 光二	
取締役	古池 政巳	
取締役	田端 雅和	株式会社エザークロップ 代表取締役社長
取締役*	宮原 英輔	オリンピア工業株式会社 代表取締役社長 九州オリンピア工業株式会社 代表取締役社長
取締役*	田中寿一郎	田中法律会計事務所代表
監査役	岡崎 稔	日本ファーンエス株式会社 監査役
監査役*	笹原 信輔	一橋総合法律事務所 パートナー弁護士
監査役*	辻 高史	あすなる監査法人 代表社員

(注) ※印の役員は社外取締役及び社外監査役であります。

## (株)NFKホールディングス組織図



株式の状況

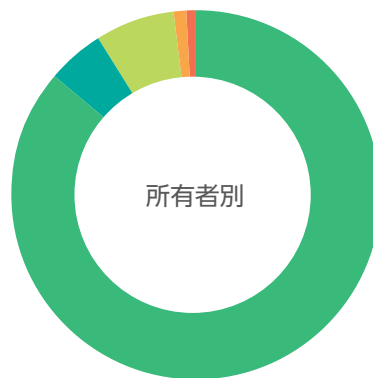
発行可能株式総数	118,610,000株
発行済株式総数	30,713,342株
株主数	9,147名

大株主 (上位10名)

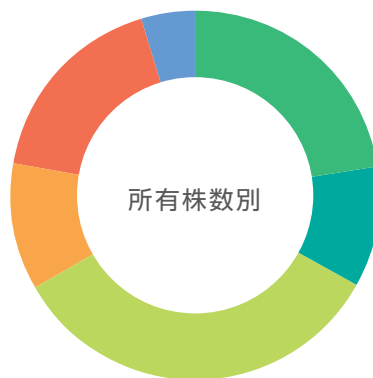
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
オリンピック工業株式会社	1,060,000	3.45
株式会社SBI証券	456,300	1.49
松井証券株式会社	455,200	1.48
渡邊 新一	320,000	1.04
日本証券金融株式会社	307,000	1.00
平田 一夫	291,300	0.95
竹内 祥晃	290,000	0.94
松浦 行子	279,300	0.91
高柳 薫	245,700	0.80
谷 陽一	232,500	0.76

(注) 持株比率は自己株式(416株)を控除して計算いたしております。

所有者別・所有株数別分布状況



個人・その他	86.33%	金融機関	1.00%
その他国内法人	4.79%	外国人	0.80%
証券会社	7.08%	自己株式	0.00%



1,000単元以上	22.53%	10単元以上	17.45%
500単元以上	10.62%	1単元以上	4.57%
100単元以上	33.76%	1単元未満	0.00%
50単元以上	11.06%		

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
○ 定時株主総会	毎年3月31日
○ 中間配当	毎年9月30日
○ 期末剰余金配当	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話参照先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL ( <a href="http://www.nfk-hd.co.jp">http://www.nfk-hd.co.jp</a> )

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内  
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えらる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

### NFKホールディングス HP



<http://www.nfk-hd.co.jp>

### 日本ファーンエス HP



<http://www.furnace.co.jp/>